

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成27年2月13日
【四半期会計期間】	第28期第3四半期（自平成26年10月1日至平成26年12月31日）
【会社名】	株式会社プラザクリエイト
【英訳名】	PLAZA CREATE CO.,LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 大島 康広
【本店の所在の場所】	東京都中央区晴海一丁目8番10号
【電話番号】	03(3532)8800(代)
【事務連絡者氏名】	取締役管理本部長 大橋 正信
【最寄りの連絡場所】	東京都中央区晴海一丁目8番10号
【電話番号】	03(3532)8800(代)
【事務連絡者氏名】	取締役管理本部長 大橋 正信
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第27期 第3四半期 連結累計期間	第28期 第3四半期 連結累計期間	第27期
会計期間	自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日	自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日	自 平成25年4月1日 至 平成26年3月31日
売上高 (千円)	14,824,987	14,313,786	20,137,564
経常利益 (千円)	830,127	532,944	502,556
四半期(当期)純利益 (千円)	710,824	473,634	309,099
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	734,175	519,118	337,345
純資産額 (千円)	3,629,673	4,118,263	3,714,443
総資産額 (千円)	11,823,254	13,627,929	11,574,118
1株当たり四半期(当期)純利益 (円)	62.00	34.23	26.49
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	30.7	30.2	32.1

回次	第27期 第3四半期 連結会計期間	第28期 第3四半期 連結会計期間
会計期間	自 平成25年10月1日 至 平成25年12月31日	自 平成26年10月1日 至 平成26年12月31日
1株当たり四半期純利益 (円)	89.61	66.92

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しているため、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
4. 当社は平成26年2月7日開催の当社取締役会の決議に基づき、平成26年4月1日付けで株式1株につき3株の株式分割を行っておりますが、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期(当期)純利益を算定しております。

2【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容について、重要な変更はありませんが、従来「イメージング事業」としていた報告セグメントの名称を第1四半期連結会計期間より「プリント事業」へ変更しております。

また、当社の連結子会社である株式会社プラザクリエイトモバイリング及び株式会社プラザハートは、平成26年4月1日に株式会社プラザクリエイトストアーズを承継会社とする吸収分割を行い、平成26年7月1日に分割後の株式会社プラザクリエイトモバイリング及び株式会社プラザハート並びに当社の連結子会社である株式会社Qlixは、当社と吸収合併いたしました。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

(1)業績の状況

当第3四半期連結累計期間において、当社グループは、業務の効率化を図ることを主な目的として、子会社の事業再編及びグループの組織再編を実施しました。

- (1)平成26年4月1日付けで株式会社プラザクリエイトモバイリング及び株式会社プラザハートは、株式会社プラザクリエイトストアーズを承継会社とする吸収分割（子会社の事業再編）
- (2)平成26年7月1日付けで分割後の株式会社プラザクリエイトモバイリング及び株式会社プラザハート並びに株式会社Q l i xは、当社と吸収合併（グループ組織再編）
- (3)平成26年10月1日付けで当社が営むプリントショップ（フランチャイズを含む）の本部機能とモバイル事業の一次代理店機能に関する権利義務を当社の完全子会社である株式会社プラザクリエイトストアーズを承継会社とする吸収分割（グループ組織再編）

当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、プリント事業において、「フォト&モア」への取り組みや「なんでもダビングサービス」の受付体制の強化等により、直営店の既存店売上高が前年同期比100%を超えるなど、売上高は堅調に推移いたしました。

しかしながら、消費税増税後の想定以上の消費低迷と回復力の鈍化もあり、主力サービスであるプリント需要が低迷するなか、第3四半期最大の商機である年賀状プリントにおいては、総受注枚数は3,355万枚と既存店実績は、ほぼ前年並みとなりました。一方、モバイル事業においては消費税引上げ後、駆け込み需要の反動により売上高の減少による影響がありましたが、黒字体質は定着し収益貢献を担う事業へと成長しました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は、143億13百万円（前年同期比3.4%減）となりました。利益面においては、「なんでもダビングサービス」関連費用に加えて、新コンセプトによる店舗展開や当社グループでのビスタプリント製品の取扱い準備に向けた店舗システム刷新等の先行費用、仕入価格の高騰による影響等もあり、営業利益5億59百万円（前年同期比32.7%減）、経常利益5億32百万円（前年同期比35.8%減）、四半期純利益4億73百万円（前年同期比33.4%減）となりました。

セグメント別では、プリント事業は、売上高79億31百万円（前年同期比1.4%減）、セグメント利益は4億36百万円（前年同期比45.0%減）となりました。

モバイル事業は、売上高62億72百万円（前年同期比2.4%減）、セグメント利益は1億9百万円（前年同期比57.7%増）となりました。

その他の事業は、売上高1億9百万円（前年同期比68.9%減）、セグメント損益は14百万円の損失（前年同期：33百万円の損失）となりました。

(2)財政状態の状況

当第3四半期連結会計期間末の総資産の額は、前連結会計年度末に比べ20億53百万円増加し、136億27百万円となりました。主な要因は、商品及び製品並びに預け金の増加によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の負債の額は、前連結会計年度末に比べ16億49百万円増加し、95億9百万円となりました。主な要因は、短期借入金及び長期借入金の増加によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の純資産の額は、前連結会計年度末に比べ4億3百万円増加し、41億18百万円となりました。主な要因は、配当金の支払額による減少1億15百万円、四半期純利益による増加4億73百万円によるものであります。

また、当第3四半期連結会計期間末における自己資本比率は、前連結会計年度末の32.1%から30.2%となりました。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

該当事項はありません。

(5) 従業員数

当第3四半期連結累計期間において、連結会社又は提出会社の従業員数の著しい増減はありません。

(6) 生産、受注及び販売の実績

当第3四半期連結累計期間において、生産、受注及び販売の実績の著しい変動はありません。

(7) 主要な設備

当第3四半期連結累計期間において、主要な設備の著しい変動および主要な設備の前連結会計年度末における計画の著しい変動はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	41,508,774
計	41,508,774

【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末現在発行数(株) (平成26年12月31日)	提出日現在発行数(株) (平成27年2月13日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	13,836,258	13,836,258	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数は100株 であります。
計	13,836,258	13,836,258	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
平成26年10月1日～ 平成26年12月31日	-	13,836,258	-	100,000	-	265,346

(6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成26年9月30日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成26年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 500	-	-
完全議決権株式(その他)(注1)	普通株式 13,832,600	138,326	-
単元未満株式(注2)	普通株式 3,158	-	1単元(100株)未満の株式
発行済株式総数	13,836,258	-	-
総株主の議決権	-	138,326	-

(注)1. 「完全議決権株式(その他)」欄には、証券保管振替機構名義が600株(議決権の数6個)含まれておりません。

2. 「単元未満株式」の欄には、当社所有自己株式1株が含まれております。

【自己株式等】

平成26年9月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義所有 株式数(株)	他人名義所有 株式数(株)	所有株式数の 合計(株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数の 割合(%)
(株)プラザクリエイト	東京都中央区晴海一丁目8番10号	500	-	500	0.00
計	-	500	-	500	0.00

(注)上記自己保有株式数には、単元未満株式1株は含まれておりません。

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（平成26年10月1日から平成26年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成26年4月1日から平成26年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,125,725	2,401,849
受取手形及び売掛金	1,875,092	1,376,033
商品及び製品	1,185,640	1,707,359
原材料及び貯蔵品	163,900	133,563
預け金	249,130	1,097,501
その他	415,710	996,228
貸倒引当金	357	357
流動資産合計	6,014,842	7,712,180
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,252,382	2,227,442
減価償却累計額	1,562,690	1,534,103
建物及び構築物(純額)	689,691	693,338
機械装置及び運搬具	4,486,236	3,961,896
減価償却累計額	4,300,475	3,789,523
機械装置及び運搬具(純額)	185,760	172,372
土地	1,364,215	1,364,215
その他	1,612,854	1,640,705
減価償却累計額	1,290,202	1,113,179
その他(純額)	322,651	527,526
有形固定資産合計	2,562,319	2,757,453
無形固定資産		
その他	320,340	401,989
無形固定資産合計	320,340	401,989
投資その他の資産		
敷金及び保証金	1,822,857	1,862,593
その他	851,960	893,945
貸倒引当金	13,839	12,338
投資その他の資産合計	2,660,978	2,744,200
固定資産合計	5,543,638	5,903,644
繰延資産		
社債発行費	15,638	12,105
繰延資産合計	15,638	12,105
資産合計	11,574,118	13,627,929

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,457,338	1,352,167
短期借入金	1,644,484	2,684,189
1年内償還予定の社債	210,000	210,000
未払法人税等	23,780	17,028
賞与引当金	87,858	48,050
その他	1,169,256	1,305,756
流動負債合計	4,592,717	5,617,192
固定負債		
社債	530,000	425,000
長期借入金	2,078,217	2,620,970
退職給付に係る負債	134,806	119,758
長期預り保証金	315,443	285,525
その他	208,490	441,219
固定負債合計	3,266,957	3,892,473
負債合計	7,859,675	9,509,665
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	1,187,511	1,187,511
利益剰余金	2,396,135	2,754,472
自己株式	99	99
株主資本合計	3,683,547	4,041,884
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	30,895	76,379
その他の包括利益累計額合計	30,895	76,379
純資産合計	3,714,443	4,118,263
負債純資産合計	11,574,118	13,627,929

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	14,824,987	14,313,786
売上原価	7,972,543	7,935,363
売上総利益	6,852,443	6,378,423
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費及び販売促進費	1,080,106	765,945
給料手当及び賞与	1,099,447	1,094,083
賞与引当金繰入額	39,694	45,629
雑給	1,021,907	1,070,347
賃借料	914,688	927,945
その他	1,864,305	1,914,719
販売費及び一般管理費合計	6,020,149	5,818,670
営業利益	832,294	559,753
営業外収益		
受取利息及び配当金	3,499	2,566
協賛金収入	6,835	16,061
その他	60,932	49,663
営業外収益合計	71,267	68,291
営業外費用		
支払利息	57,312	36,575
持分法による投資損失	-	45,801
その他	16,122	12,724
営業外費用合計	73,434	95,100
経常利益	830,127	532,944
特別利益		
固定資産売却益	19,363	18,555
投資有価証券売却益	31,500	-
特別利益合計	50,863	18,555
特別損失		
減損損失	59,759	55,939
投資有価証券評価損	2,168	-
店舗閉鎖損失	8,451	5,416
特別損失合計	70,379	61,356
税金等調整前四半期純利益	810,610	490,143
法人税、住民税及び事業税	87,210	17,151
法人税等調整額	12,575	643
法人税等合計	99,785	16,508
少数株主損益調整前四半期純利益	710,824	473,634
四半期純利益	710,824	473,634

【四半期連結包括利益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	710,824	473,634
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	23,351	45,483
その他の包括利益合計	23,351	45,483
四半期包括利益	734,175	519,118
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	734,175	519,118
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

【注記事項】

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

第2四半期連結会計期間に株式会社フォトネットは清算したため、連結の範囲から除外しております。また、株式会社プラザクリエイトモバイリング、株式会社プラザハート及び株式会社Q l i xは、当社と吸収合併したため、連結の範囲から除外しております。

(会計方針の変更等)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

該当事項はありません。

(四半期連結貸借対照表関係)

該当事項はありません。

(四半期連結損益計算書関係)

前第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)及び当第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

当社グループでは、第3四半期連結会計期間において、主として年賀ポストカード等のプリント製品の需要が集中して発生するため、第3四半期連結会計期間の売上高は、他の四半期連結会計期間の売上高と比べ著しく高くなる傾向にあります。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
減価償却費	362,151千円	288,482千円
のれんの償却額	824千円	2,332千円

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

1. 配当に関する事項

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年6月27日 定時株主総会	普通株式	38,619	10.00	平成25年3月31日	平成25年6月28日	利益剰余金

2. 株主資本の著しい変動

当社は、平成25年5月17日開催の取締役会において、平成25年6月27日開催の第26回定時株主総会に、資本金の額の減少について付議することを決議し、同定時株主総会にて承認可決され、平成25年7月30日付でその効力が発生しております。これにより資本金が917,880千円減少し、その他資本剰余金が同額増加しております。

当第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

1. 配当に関する事項

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成26年6月27日 定時株主総会	普通株式	115,297	25.00	平成26年3月31日	平成26年6月30日	利益剰余金

(注)当社は、平成26年4月1日付で普通株式1株につき3株の株式分割を行っております。平成26年6月27日定時株主総会決議については当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	プリント	モバイル	計				
売上高							
外部顧客への売上高	8,044,090	6,428,952	14,473,042	351,944	14,824,987	-	14,824,987
セグメント間の内部 売上高又は振替高	35,413	-	35,413	-	35,413	35,413	-
計	8,079,503	6,428,952	14,508,456	351,944	14,860,401	35,413	14,824,987
セグメント利益又は損 失()	793,741	69,634	863,376	33,559	829,816	311	830,127

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、プライダル事業等を含んでおり
ます。

2. セグメント利益又は損失()の調整額は、セグメント間取引消去額であります。

3. セグメント利益又は損失()は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当社グループは、営業損失が継続してマイナス等である店舗を対象に帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。なお、当第3四半期連結累計期間の当該減損損失の計上額は、「プリント事業」において57,551千円であります。

当第3四半期連結累計期間（自平成26年4月1日至平成26年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	プリント	モバイル	計				
売上高							
外部顧客への売上高	7,931,347	6,272,993	14,204,340	109,446	14,313,786	-	14,313,786
セグメント間の内部 売上高又は振替高	44,753	-	44,753	-	44,753	44,753	-
計	7,976,100	6,272,993	14,249,094	109,446	14,358,540	44,753	14,313,786
セグメント利益又は損 失()	436,424	109,804	546,228	14,685	531,542	1,401	532,944

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、プライダル事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失()の調整額は、セグメント間取引消去額であります。

3. セグメント利益又は損失()は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当社グループは、営業損失が継続してマイナス等である店舗を対象に帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。なお、当第3四半期連結累計期間の当該減損損失の計上額は、「プリント事業」において47,112千円、「モバイル事業」において5,773千円であります。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
1株当たり四半期純利益(円)	62.00	34.23
(算定上の基礎)		
四半期純利益(千円)	710,824	473,634
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益(千円)	710,824	473,634
普通株式の期中平均株式数(株)	11,464,688	13,835,757

(注)1. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 当社は平成26年2月7日開催の当社取締役会の決議に基づき、平成26年4月1日付けで普通株式1株につき3株の株式分割を行っておりますが、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益を算定しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成27年2月6日

株式会社ブラザクリエイト
取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 津 田 良 洋

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 三 井 勇 治

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社ブラザクリエイトの平成26年4月1日から平成27年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間(平成26年10月1日から平成26年12月31日まで)及び第3四半期連結累計期間(平成26年4月1日から平成26年12月31日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社ブラザクリエイト及び連結子会社の平成26年12月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。